

## 沁み込ませる春

校長 武井 正明

侍ジャパンはよく頑張った、と思う。

だが、やはり負ければ悔しく、落胆し、もっと楽しみたかったと恨み節も出る。

ただ、それと誹謗中傷は違う。

誤解を怖れずに言えば、たかが野球じゃないか。されど野球。だからプロのメンバーが必死になって戦う。そこに痺れる一発勝負の面白さがあるのだ。選手たちは卑怯な真似をしたわけではない。寧ろ正々堂々と戦って、今回は、ものの見事に力負けしたのだから、そうやって頑張った選手たちを、ここぞと徹底的に潰しにかかるような人たちは、最初から他人がやるスポーツなどに熱くならず、自分で別の何かに熱くなっていけばいい。

私は大谷翔平の満塁ホームランのおかげで、卒業式の夜、本当に美味しいお酒を呑ませてもらった。それだけでも、今回のWBC、十分楽しませてもらった。

日中は、太陽の温かさが、地面に沁み込んでいくような陽気が戻ってきた。

嬉しくなって、グラウンドの野球部の練習に少し入れてもらって、球拾いをした。

みんな見ないうちに、背も伸び、体幹も逞しく成長している。打球にも力強さが加わって、これからますます楽しみになってきた。

屋内では陸上部やバドミントン部が、ラダーや器具を使って単調で地味な基礎練習を繰り返していた。大切な体のリズムやキレを、この練習で身体に沁み込ませていく。

集会室では、吹奏楽部が基礎練習をしていた。

大事な音の吸い込み。その際の顔の向き、姿勢、これらが適切なものとなって初めて大きな音量を吹き出すことが出来る。これも地味な練習だ。彼らは体で覚えていく…。

しばらくご無沙汰だった科学部を覗いてみた。

この冬、ずっと地道に育ててきた赤エビと黒エビが、立派に育っている。

こんなに小さな命。でも一生懸命に動いて生きようとしている。それを、優しいまなざしで見つめる部員たちの心も、着実に育っていることが私は嬉しい。

あっというまの3学期も明日で終わりです。

今は三階が寂しい吉中も、来月になれば、可愛いニューフェイスたちが入ってきます。

もう今からそれが待ち遠しくてならない。

新1年生の皆さん、待ってるよ!! 元気いっぱい吉中の門を潜ってきてください!!